

平成 2 7 年度
事業報告書（抄）

自 平成 2 7 年 4 月 1 日
至 平成 2 8 年 3 月 3 1 日

1 証明書情報管理事業

- (1) 証明書情報管理業務を確実に実施した。
- (2) 平成29年4月に予定されている OSS の全国展開と抜本的拡大を見据え、自動車情報管理システムの定期的な更改作業に加え、新たに必要となる機能について関係機関、団体との調整を進めるとともに、システムの設計、開発作業を進めた。

2 情報処理提供事業

- (1) 自動車検査登録情報提供サービスの運用を行った。
- (2) 自動車検査登録情報提供サービスの利便向上と利用拡大に向け、関係団体等に対し PR 活動を行い、利用拡大に努めた。
- (3) 自動車検査登録情報提供サービスの安定した稼働に努めたほか、国土交通省の情報提供仕様変更（税制改正等）を踏まえたシステムの改修を行った。

また、平成29年1月に予定するシステム更改に向けて、課題の整理や利用者ニーズを踏まえた更なるサービス向上を主眼に、次期システムの構築作業を進めた。

3 用紙頒布事業

- (1) 自動車検査登録申請用紙（OCR シート）の頒布を行った。

4 企画広報事業

- (1) 広報紙「R&I」を毎月15日に発行した。
- (2) 国が進めるOSSの現状と今後の方向、および開発中のシステムの進捗状況やその概要等についての理解を深めるための「OSS普及促進連絡会議」を平成28年2月19日及び3月9日に北海道・東北地方にて開催した。

5 自動車登録等の適正化推進活動

国土交通省及び当協会をはじめとした自動車関係13団体で構成する「自動車登録等適正化推進協議会」を平成27年12月9日に開催した。平成28年2月に啓発リーフレットを配布し、自動車の変更登録等の励行に関する啓発を実施した。

6 自動車安全対策等への協力事業

- (1) 国土交通省と関係団体が実施する「不正改造車を排除する運動」及び「自動車点検整備推進運動」に協力した。
- (2) (公財)日本自動車輸送技術協会が行う自動車排ガスの試験研究事業等に協力した。
- (3) 自動車基準認証国際化研究センター(JASIC)が行う自動車基準認証制度等の国際化推進活動に協力した。
- (4) (公財)交通遺児等育成基金が行う交通遺児等の健やかな育成を図ることを目的とする支援事業に協力した。
- (5) 国が進めるOSSの対象手続きの抜本的拡大に協力するため、(公財)自動車情報利活用促進協会が開発しているOSS一括申請システムについて、その開発・構築費用等を支援した。
- (6) 国が進めるOSSの全国展開に協力するため、各都道府県が開発している自動車税等の共同利用システムについて、その開発・構築費用を支援した。

7 調査統計事業

- (1) 平成27年版自動車保有車両数統計書(年報)、毎月末自動車保有車両数統計書(月報)等を作成・頒布した。また、各種統計書を基にして毎年発行していた「わが国の自動車保有動向」(自動車の平均車齢・平均使用年数・世帯当たり普及台数)はホームページ上での公開に移行し、サービスの向上を図った。
個別保有統計システムにより、利用者のニーズに応じた個別の自動車保有統計を民間機関等に107件提供した。
- (2) 当協会ホームページで公開している統計情報を充実させるとともに、統計データのさらなる利便向上に向けた検討を開始した。

8 調査研究

新しい自動車関連情報の将来像等を検討し、自動車ユーザーの負担軽減と利便向上、さらには自動車産業の活性化を図ることを目的として、平成27年10月28日、12月16日および平成28年2月25日の計3回、「自動車情報利活用促進研究会」を設置、開催した。

9 個人情報保護活動

指定審査機関の審査を受けて6回目の「プライバシーマーク」更新を行った。更新審査等を通じて各職員が日頃行っている業務をそれぞれ再点検し、存在するリスクやその対応策を再認識することで職員全体の意識向上に努めた。また、より着実な個人情報保護活動の実施に向け、協会内部教育研修の実施や外部セミナーへの参加を行った。